

6月3日(日)の吃音を考える会

～竹内敏晴さんから学んだ、からだとことばのレッスン～

大阪吃音教室の講座の一つに「ボイストレーニング」がありますが、6月3日の「吃音を考える会」は、そのロングバージョンとして企画しました。いつもの大阪吃音教室より長い時間を使って、からだを動かしたり、ことばについて考えたり、歌を歌ったりします。声を出す楽しさ、喜びを、みんなで味わう時間になればと思っています。

どもることは変えられなくても、相手に向かってからだを開き、伝えたいことばを届けることはできます。どもりを治すためではなく、日本語を話す人としての日本語のレッスンは、ことばで苦勞してきた私たちだからこそ、取り組みたいことです。

どもりたくないからといって、下を向き、早口でぼそぼそと話しては、相手には伝わりません。日本語は、「ん」以外の音にはすべて母音がついています。母音をしっかり押し、一音一拍を意識して、声を出してみましょう。

竹内敏晴さんが亡くなられたのは、2009年9月7日でした。一時期、病気で耳が聞こえず、そのため歪んだ発音しかできなかった経験をお持ちだった竹内さんは、最後まで、どもる私たちのことを仲間と思って下さり、大阪吃音教室の外部講師を長年して下さいました。吃音親子サマーキャンプでする芝居のシナリオを書いて、演出指導もして下さいました。

竹内さんから学んだ「からだとことばのレッスン」を、皆さんと体験してみましょう。

日時 2018年6月3日(日) 10:00～17:00

会場 應典院B研修室

服装 動きやすい服装で。スカートは避けていただいた方がいいでしょう。

持ち物 長い時間になり、からだを動かし、声も出します。飲み物を各自ご用意下さい。昼休みは1時間とります。

参加費 会員は300円、未会員は1000円。

初参加者は、資料代として、別途1700円が必要。
